

おやま
小山地区民有林直轄治山事業

当地区は、静岡県北東部（小山町）に位置。富士山の火山噴出物であるスコリアが厚く堆積し、土壌の固結度が弱く侵食されやすい地質のため、豪雨時等に山地災害が発生しやすい特徴。平成22年9月の台風第9号に伴う集中豪雨では、大規模な崩壊地が多数発生し、大量のスコリア土砂が流出、甚大な被害が発生。平成23、24年の台風及び集中豪雨等により崩壊地が著しく拡大。

当地区の荒廃地の復旧対策は、規模が著しく大きく、スコリア土壌の特性を踏まえた高度な技術を必要とすることから、静岡県等の要望を受けて、平成27年度より民有林直轄治山事業に着手。

被害状況



平成22年9月の台風9号に伴う小山町内の様子

荒廃状況



北郷区域 荒廃状況(角取山工区)



角取山工区 崩壊状況

【事業計画期間】

平成27年度～令和16年度（20年間）

【予算措置状況】

全体計画額 : 15,055百万円
 R5当初予算 : 859百万円
 R5補正予算 : 260百万円
 R6当初予算 : 682百万円
 R6補正予算 : 350百万円
 R7当初予算 : 620百万円
 (R7末進捗見込 67.5%)

【主要工事計画】

溪間工 190 基 (79基)
 <R7施工予定 5基>
 山腹工 39.5 ha (15.5ha)
 <R7施工予定 2.09ha>
 注: ()内は施工済数量

【主な保全対象】

人家 198 戸
 事業所等 30 箇所
 国県道 4.5 km
 市町村道 15.0 km

位置図



復旧状況

